

事業の概況

■ 経営環境

平成25年度は、安倍政権が掲げた経済政策、日銀による大規模な金融緩和策の効果に、欧米先進国の景気回復期待が加わり、日経平均株価は約6年ぶりとなる1万6千円台を回復し、円相場も105円台半ばの円安水準を付けました。

我が国経済は、こうした異次元緩和策により、金融危機以降、低迷していた企業業績が改善、経済指標も堅調に推移するなど自律的回復に向けた動きが見え始めております。

しかしながら、消費税増税に伴う影響に加え、中国不動産バブル崩壊懸念といった海外情勢の悪影響も予想されるなど不安要素も持ち合わせている状況にあり、景気回復には依然として、不透明感も漂っています。

一方、農業分野につきましては、国内農業の根幹を揺るがしかねない「TPP（環太平洋連携協定）への交渉参加」問題や農産物価格低迷による農家経営の悪化、正組合員の高齢化による離農拡大など依然として厳しい状況にあります。

また、系統金融を取り巻く環境は、金融サービスの競争激化など、依然として厳しい状況にあり、リテール金融市場においても、人口減少による市場の縮小や低迷局面を睨んだ金融機関同士の顧客争奪競争が、益々厳しさを増すことが予想されます。

こうした情勢のもと、当会は平成25年度事業方針に基づき、「安定的収益還元機能の強化」および「JAバンクえひめ本部機能の強化」に取り組みました。

収益還元機能の強化については、貸出、有価証券の効率運用に努めるとともに、長期安定収益の確保を目的とした有価証券ポートフォリオの改善を実施しました。

JAバンクえひめ本部機能の強化として、貯金、ローン、年金および給与振込の県下統一キャンペーンの企画および推進支援を行いました。

また、文化的・社会的貢献活動として、「愛媛マラソン」や「えひめ・まつやま産業まつり」などの地域イベントへの協賛を行ったほか、被災地修学旅行生への支援、JAバンクアグリサポート事業の展開として、教材本贈呈事業、教育活動助成事業の支援を行いました。

以上のような取り組みの結果、経常利益、当期剰余金ともに計画を上回る実績を収めることができました。

■ 業績

平成26年3月末の県下JA貯金残高は1兆7,125億円となり、前年同月比729億円増加しました。

JA貸出金残高は3,148億円となり、前年同月比67億円増加しました。

当会のJA等からの資金調達では、平成26年3月末貯金残高は1兆3,231億円となり、前年同月比768億円増加し、平成25年度期中平均残高は1兆2,938億円で、前期比772億円増加しました。

一方、資金運用では、農林中金等への預け金残高は9,091億円となり、前年同月比1,162億円増加し、期中平均残高は8,622億円で、前期比886億円増加しました。

貸出金残高は932億円となり、前年同月比15億円増加し、期中平均残高は931億円で、前期比1億円増加しました。

有価証券残高は3,781億円となり、前年同月比438億円減少し、期中平均残高は3,701億円で、前期比94億円減少しました。

事業収支では、経常収益は165億8千7百万円、経常費用は121億1千9百万円となりました。この結果、経常利益は44億6千7百万円で、前期比1億5千万円の増益となりました。また、当期剰余金は35億1千万円で、前期比3百万円の増益となりました。

トピックス

● JAバンクえひめロールプレイング県大会

東京第一ホテル松山コスモホールにて、平成25年11月12日に「JAバンクえひめ MA ロールプレイング県大会（約150名参加）」を、11月19日に「JAバンクえひめ 窓口担当者ロールプレイング県大会（約150名参加）」を開催しました。

今後も、ロールプレイング県大会を通して、お客さまによりよい提案ができるよう技術の向上に努めて参ります。



● 春の年金花道キャンペーン

JAバンクえひめでは、平成25年4月15日から5月31日まで「春の年金花道キャンペーン」を実施しました。

また、JA年金受給者・予約者を対象とした「南こうせつ ふれあいコンサート」（平成26年2月25日）を開催しました。

さらに、年金友の会会員向けの会報誌「ゆとりんく」を年2回発行しました。



● 給与振込はJAにおまかせキャンペーン

JAバンクえひめでは、全国の給与振込キャンペーンに呼応し、平成26年2月1日から5月31日まで「給与振込はJAにおまかせキャンペーン」を実施しました。



● 個人貯金増強キャンペーン

JAバンクえひめでは、県下統一で平成25年6月14日から8月30日まで「夏のうわのせ福ふくキャンペーン」を、平成25年11月1日から12月30日まで「冬のうわのせ福ふくキャンペーン」を実施しました。

夏・冬の県下統一での定期貯金を販売し、JAバンクえひめが一体となり、個人貯金の増強に努めました。



● 伊予銀行・コンビニ2社とのATMの無料化提携

J Aバンクえひめでは、お客さまの利便性を一層向上させることを目的に、伊予銀行とのATMの無料化提携（平日）を平成25年8月5日から実施しました。

また、平成25年11月18日からコンビニ2社（ローソン・イーネット）との無料化提携（平日、土曜日）がスタートして、ATMの無料ネットワークが更に広がりました。



● JAバンクえひめ俳句コンテストの開催

J Aバンクえひめでは、県下J Aで年金受給する方の趣味を応援することを目的に、平成25年5月1日から7月31日まで「J Aバンクえひめ俳句コンテスト」を実施しました。

県内から多数の応募があり、その中から高石幸平先生【「柿」主宰（ホトトギス同人）】に選句していただき、入選された10名の方には、賞状と農産物をプレゼントしました。



● JA直売所スタンプラリーの開催

J Aバンクえひめでは、愛媛県産を代表とするJ A直売所の魅力を幅広くPRするとともに、新たな利用基盤の拡充を図ることを目的として、平成25年6月1日から9月1日までJ Aグループ愛媛直売所ネットワークに参加している15ヶ所のJ A直売所を対象とした「J A直売所スタンプラリー」を開催しました。

なお、応募総数1,384通の応募者の中から当選者を選び、豪華商品をプレゼントしました。



● マイホームプラン応援キャンペーン

J Aバンクえひめでは、平成25年6月14日から平成26年3月31日まで「マイホームプラン応援キャンペーン」を実施し、キャンペーン期間中に「J A住宅ローン事前審査（仮審査）」をお申込みされた方に先着でクオカードのプレゼントを実施しました。



● マイカー・教育ローンキャンペーン

J Aバンクえひめでは、県下統一金利で平成25年10月1日から平成26年4月30日まで教育ローンキャンペーンを実施し、平成25年6月3日から8月30日および11月1日から平成26年4月30日までマイカーローンキャンペーンを実施しました。



● J Aバンクえひめ住宅ローン営業担当者会議

ホテルJ A Lシティ松山にて、平成25年11月6日に「J Aバンクえひめ住宅ローン営業担当者会議」を開催しました。

会議では、県下12J Aの住宅ローン担当者による「住宅関連会社営業」や「ローン推進業務」についてのグループディスカッションや事例発表などを通じて、情報の共有化と意識統一を図りました。



● J A経営セミナー

平成25年9月12日に県下J A役員、幹部職員、連合会、系統関連組織の方々を対象にした「J A経営セミナー」を開催しました。

巢鴨信用金庫の元常務理事である田中実氏による「一律・画一的なサービスから個別・創造的なホスピタリティ(おもてなし)へ」というテーマで、C S向上の経営戦略に参考となる講演を行いました。



● J A相続対策セミナー

平成26年2月5日に県下J A信用事業本所(店)部課長およびスタッフ、支所(店)長等を対象に「J A相続対策セミナー」を開催しました。

農林中金顧問税理士であるランドマーク税理士法人代表 清田幸弘氏による「相続税・贈与税改正にともなう対策の考え方」というテーマで、相続貯金の流出防止等の参考となる講演を行いました。

